

## 医療通訳講座 ロールプレイの授業を初めて受講する方へ

- 表示名はイニシャルなどでなく、**お名前**でお願いします。
- 授業中は**チャット**を使用しますので、表示できるようにしてください。
- ロールプレイの全てのスクリプト（**協会のテキスト、ロールプレイプリント**）をご準備ください。
- 1.5時間クラスは、2週で1コマとなります。  
（例：10/14,16,17はNo.1前半、10/21,23,24はNo.1後半）  
授業で行うテーマの順番や内容は、講師や参加人数によって異なることがあります。

## ロールプレイの授業の受け方

- **耳で聞いて、自分の使いやすい言葉で訳出する。（訳例を暗記しない）**
- テキストの左側のスクリプト文を見ないと訳出が難しいと感じる方は、テキストを見て訳して構いません。徐々に耳で聞いて訳すようにしていきましょう。

- 他の方が通訳を行っている時も、メモしながら訳す練習をする。
- 日本医療教育財団のテキスト（椅子が3つある表紙）の単語集の「症状」「薬」「検査」「病名」は、出来るだけ早く覚える。

### 【慣れてきたら】

- わからない単語が出てきたら、その場で単語を調べて訳す。またはパラフレーズで訳す。
  - 検定試験の2次試験の時も同じです。試験時に単語を素早く調べる練習にもなります。
  - 単語や文章の訳がわからなくて（辞書にもなくて）、そこに時間をかけすぎるよりも、パラフレーズで通訳を進めたほうが良い時もあります。（ただし、病名は必ず訳す）
- 日本語も英語も、より短い文章で速く、正確に訳すことを目指す。
- プリントのスク립トの訳例はお渡ししていませんので、疑問点は授業中に先生に確認して下さい。ご自分の通訳が適切かどうか不安な方は、授業後に事務局までメールでご質問下さい。先生に添削していただき、折り返し返答いたします。
- ロールプレイテキスト、プリントを事前に全く確認せず、授業で初めてスク립トを知る形で授業を受けるという方法にチャレンジするのも試験対策になるでしょう。

# 単語集/検定試験の持ち込み資料 について

検定試験の2次試験（実技試験 6月、11月）では、辞書の持ち込み可能です。  
ご自身で作成した辞書も、持ち込むことができます。（タブレット、スマホなどは不可）

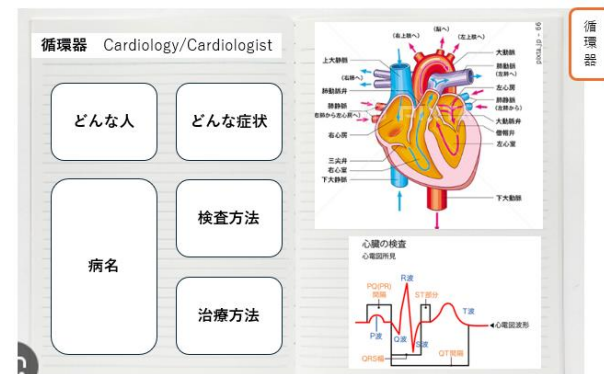
入校時、まだほとんど医療単語を覚えてない状態で、実技試験の持ち込み資料（単語集）を作成することはお勧めしておりません。入校時と卒業時の、受講生の医療英語の語学力に差が大きいからです。

**\*\*入校時、単語を完璧に覚える\*\***



基礎単語から覚える状態

**\*\*試験のための持ち込み資料\*\***



ほぼ単語は覚えている状態